

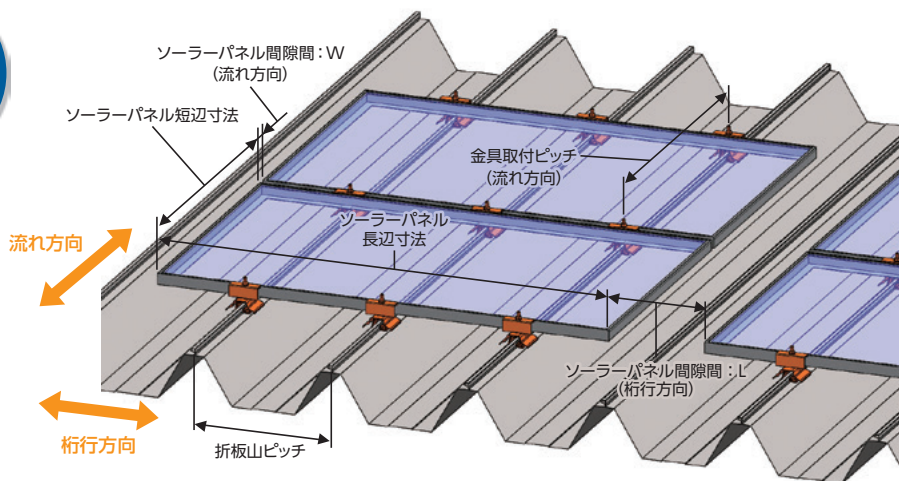
工法別共通事項

屋根上設置編

各部取合い寸法

①直付工法 (ハゼ式A・B (角ハゼ・丸ハゼ) 高強度タイプ を除く)

ソーラーパネル
配置寸法
横置の場合



イラスト例
●ソーラーパネル: NFタイプ
●ソーラー金具: ハゼ式A ライトタイプ
●屋根: ハゼ式A (角ハゼ)

※ソーラーパネルメーカー様にて隙間の指定がある場合は、その指定に準拠してください。

ソーラーパネル間隙間 (桁行方向) : L

左右対称配置の場合 桁行方向 (最小寸法) : $L = \{ \text{折板山ピッチ} \times (\text{ソーラーパネル長辺寸法} \div \text{折板山ピッチ}) \} - \text{ソーラーパネル長辺寸法}$
↓
小数点以下切り上げて整数にする

偏心配置の場合 隙間は、屋根・建物・ソーラーパネルの強度・耐久性を考慮し、ソーラーパネルメーカー様の設置 (配置) 仕様 (条件) に準拠した上で、お客様にて決定してください。

※最小寸法が5mm未満の場合は、折板山ピッチを加算してください。また、ハゼ式III型への取付けの場合は、山ピッチではなく働き幅で隙間寸法を決定してください。

ソーラー金具取付ピッチ (流れ方向)

流れ方向 = ソーラーパネル短辺寸法 + W (ソーラーパネル間隙間 (流れ方向))

設置条件について

- ①ソーラーパネル固定方法: ソーラーパネルフレーム押さえ固定 4または6または8箇所留以上 (ソーラーパネル1台あたり)
- ②屋根なり設置 (屋根置き形) : アレイ面 (屋根面) = 屋根勾配=設置 (傾斜) 角度
- ③ソーラーパネル1長辺あたり4点固定以上は、ソーラーパネル長辺寸法と桁行方向の金具取付ピッチを考慮し、ソーラーパネルメーカー様の設置 (配置) 基準 (条件・仕様) に準拠した上で、ソーラーパネル間隙間やソーラーパネルへの金具の固定位置を考慮し、お客様にて調整・決定してください。
※その他の設置条件については各屋根ごとの設置条件を参照してください。

屋根設置について (ソーラーパネル設置可能範囲)

- ①軒先、妻 (けらば)、包み、棟、採光部分 (樹脂製屋根など) には設置しないでください。(軒、妻への設置は設置条件および JIS C 8955: 2011 の適用範囲外です。) また、ソーラーパネルおよびソーラー金具は屋根端部から500mm以上離して、かつ壁線より内側に設置してください。
- ②屋根周辺部 (外周) は屋根中央部に比べ、風圧荷重が大きくなる傾向があります。その為、ソーラーパネルは、屋根周辺部 (外周) より、それぞれの辺長の10%の範囲 (辺長の10%が3mを超える場合は3mとする。また、辺長の10%が500mm未満の場合は500mmとする。) を離隔し、設置することを推奨致します。

